

2019年11月22日 第3315回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 田邊 会長

<斉 唱> 「我等の生業」

<ゲスト紹介> *米山学友 ジョルダヤ・コヴァ・サウレ さん
*株観音崎京急ホテル取締役 後藤 隆行 様

<会長報告> *第7回第1グループ三役会報告

<委員長報告> *田邊会長よりVTT活動報告
*VTT特別委員会岡田委員長よりロータリー財団地域セミナー報告
*職業奉仕委員会植田委員長より公共イメージ・奉仕プロジェクト合同セミナー報告

<幹事報告> *週報・・・横須賀北RCより受領

<出席報告> *出席委員会 長尾委員長より11月22日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
115名	92名	58名	40名	6名	65.31%

<ニコニコ報告>

- ・三 役 米山学友ジョルダヤ・コヴァ・サウレさんようこそ。本日の卓話宜しくお願ひします。
- ・中村 備、田 中、畑、齋藤 眞、鷲 尾、植 田、瀬 戸、
山田 豊、波 島、松本 剛、若麻 績、八 巻、濱 田、澤 田、
勝 間、谷、長 尾、中村 剛、福 西、猿 丸、角 井 各会員
米山学友ジョルダヤ・コヴァ・サウレさん、本日はようこそお越し下さいました。
卓話宜しくお願ひいたします。
- ・元地区米山奨学委員長佐久間会員 米山50周年記念大会では司会進行ご苦労様でした。久しぶりにサウレのスピーチを聞けるのが楽しみです。これからの活躍を期待しています。
- ・松本 剛、濱 田、鈴木 豊、澤 田、兼 城、谷、丸 山、
長 坂、岡 田、新倉 剛、平 田、福 西、物 井 各会員
VTTご参加の皆様お帰りなさい。手術漬けの日々だったとの事で、ご無事で何よりでした。
- ・田 邊、齋藤 眞、藤 村、前 田 各会員 VTTによる口唇口蓋裂治療でフィリピンセブより帰国いたしました。例年以上の27症例の治療を行うとともに、現地の医療従事者への技術移転、さらに現地常設のDIMOC（ディーモック）センターの設立など盛りだくさんのミッションを行ってまいりました。
- ・木 村、小 平、小山 剛、齋藤 眞、山田 備、吉 田、上 林 各会員
11月19日（火）横須賀中央の花野家さんにて2番TMを盛大に開催しました。田邊会長と三宅さんにもお越し頂き大いに盛り上がりました。
- ・渡 邊、田 邊、齋藤 眞、瀬 戸、高橋 剛、藤 村、
波 島、上 林、長 尾、徳 永、丸 山 各会員 写真をいただいて。

<卓 話>

「米山奨学生に選ばれて」

米山学友 ジョルダヤ・コヴァ・サウレ さん

みなさまこんにちは。本日は例会に温かく迎えていただき、たくさんメッセージをありがとうございます。今日は、「私が米山奨学生に選ばれて」というテーマで発表させていただきます。よろしくお願いいたします。

内容は、①簡単な自己紹介、②米山奨学生になってどうなったのか、③母国カザフスタンについて、④夢に向かった研究（今やっている水素エネルギーの研究）について、順番に話していきたいと思います。

①自己紹介

カザフスタン出身

・2010年3月29日 来日

非常にドキドキ・ワクワクしていました。日本で色々なことを見聞きたい、学びたいと思いました

・2010-2011年 新宿日本語学校

・2011-2015年 東海大学教養学部人間環境学自然環境課程

この期間はカザフスタンの国費留学プログラム「ボラッシュャック」として4年間色々な環境問題について勉強しました。「ボラッシュャック」とは日本語で「希望」という意味です。カザフスタン政府が若者を海外へ留学させカザフスタンの未来の為に活躍する人を育てるプログラムです。

・2015-2017年 東海大学人間環境学研究科人間環境専攻（修士課程）

大学を卒業した後、まだ日本に残って勉強を続けたいと思いました。奨学金を探した際、ロータリークラブの米山奨学金財団について知りました。そして米山奨学生として修士課程に進みました。

・2017-2020年 東海大学総合理工学研究科総合理工学専攻（博士課程）

修士課程を終えた際、家族やカザフスタン政府から帰国するか聞かれましたが、「まだ日本で勉強・研究を続けたい。」と答えました。この期間は「College Womens Association of Japan」「公益財団法人国士育英会」から奨学金をいただいています。周りの人からは「奨学金のハンター」と言われています。

・趣味

お菓子作り（落ち込んだ時に作りますので、周りに大丈夫？と聞かれます）・読書（日本の作家では芥川龍之介が好き）・花の写真を撮る（一つの花を上下左右から撮影、飽きないです）・外国語の習得（言葉学ぶことは文化を学ぶこと、ロシア語・カザフ語・英語・日本語・スペイン語・トルコ語の6か国語を話せます）

②米山奨学生として

「学業において研究目的・目標の明確化と研究成果をあげる努力」「異文化理解への努力」「コミュニケーション能力向上」が重要です。たくさん勉強することはもちろん、企業のインターンシップへの参加、資格取得、国内外（カザフ・スペイン・マレーシア・アメリカ・ブラジル）のシンポジウム・学会への参加や発表をしてきました。昨年ブラジルに行った際ロータリークラブの赤いTシャツを着て歩いていたら、現地の方から「ロータリークラブとどういう関係が？」と尋ねられました。そこで、米山奨学金の事などを伝えました。その方は、ブラジルのロータリアンでした。ロータリークラブは世界を繋げていることを理解しました。とても嬉しかったです。奨学生は色々な国からきています。人間関係・ネットワークを大切にしています。今でも後輩達の相談にのるようにしています。

③母国カザフスタンについて

みなさんカザフスタンについて聞いたことがありますか？多くの人はあまりよく知りません。私の自己紹介は多くの場合カザフスタンの紹介からはじまります。

・中央アジアにあり日本から5000キロの距離

・国土の広さは世界で9番目（面積272490平方キロメートル、日本の約7倍、人口は日本が7倍）



- ・トルクメニスタン、キルギス、ウズベキスタンなどの中央アジアの国が隣接・北はロシア・東は中国
- ・ヨーロッパ系、アジア系の人が混在している他民族国家（130民族）であり公用語はロシア語。人口1740万人のうち都市人口が約6割。人口密度は1平方キロメートルあたり5.5人。日本は1300人！
- ・仕事できる人（積極的）は年齢27～49才とされ、平均寿命は短い（男性58才・女性72才）。経済的状況もあるが、寒い国で脂身の多い肉を多く食べ健康によくないのではと思っている。
- ・自分はカザフスタン中央にあるジェズカズガンの出身。1998年までの首都は南にある最大の町アルマトィ。現在の首都はヌル・スルタン（旧名アスタナであったが2019年に改称、旧ソ連から独立した際の大統領の名前がつけられた）。日本の建築家黒川紀章が都市計画案に携わった。
- ・国土の49%が砂漠、草原29%、半砂漠15%、森林6%、色々な景色がありますよ。
- ・最低気温マイナス57度、最高気温49度、年間降水量が非常に少ない（湖等は国土の2%のみ）
- ・天然資源が多い反面、採掘における廃棄物等での環境問題が深刻

④自身の研究について

自分が日本で勉強する理由は、カザフスタンの環境問題解決の役に立つためです。自分の故郷では銅の生産が盛んで、街中に煙がたくさん出ていました。子供のころから環境問題に興味がありました。1960年代以降の公害問題を解決し、環境にやさしい国となった日本の手法を学びたいと思いました。環境問題の勉強・研究をする中で「水素エネルギー」について知りました。日本は、水素エネルギー社会をつくることを目指しています。私は水素エネルギーの研究をしてカザフスタンでの活用の可能性を探っています。研究テーマは、「カザフスタンにおける水素エネルギー利用への展望：水素吸蔵合金の作製及び水素吸蔵性の検討」です。

カザフスタンのエネルギー自給率は200%（日本は6%）、その半分が石炭です。国内の電源構成の67%を石炭に依存しており、CO2排出等廃棄物汚染が問題になっています。地球温暖化の対策にも協力しないとイケないため、再生可能エネルギーの開発に注目しています。再生可能エネルギーの比率について、2020年までに3%、2030年までに10%、2050年までに50%に増加させる計画があります。カザフスタンでは再生可能エネルギーのポテンシャルが非常に高いと考えます。太陽光発電において年間晴天日は非常に長く、風力発電において風の速度は非常に高く、国土の50%に風力発電施設の設置が可能と考えられます。

私は、それら再生可能エネルギーをもっと効果的に使う方法として、つくった電力の貯蔵先を電池ではなく水素にすることを考えています。今世界中で使われているのは、リチウムイオン電池です。それをつくった日本の化学者がノーベル賞をもらいました。電池は、非常に便利ですが寿命が限られています。水素の場合、色々なメリットがあります。例えば、燃料電池は発電の結果として水が生成されますので、燃料電池を用いることは水資源を生み出すことにもなります。また、電池は貯蔵方法も選べ、簡単に輸送できるクリーンエネルギーという特徴があります。水素はどうやって貯蔵しますか？今は3つの方法がありますが安全性、コストなどの問題があります。私の研究では、水素をもっと安く貯蔵するため、レアメタルではなくカザフスタンで採掘できるコストの安い金属合金を使って作っています。それを利用したカザフスタンでの水素エネルギーシステムを考えています。卒業したらこれをカザフスタン政府のプロジェクトにできたらと思っています。今その論文を書いています。

環境にもっとやさしい事をし続けるのは大人では無理だと考えています。でも次世代の子供たちには伝えなければならないです。ですから、地球温暖化について簡単な絵本をつくることを考えています。今いろんなことをやっていますが学部を卒業したとき日本で勉強を続けたいという希望をかなえてくれたロータリ

ークラブに感謝しています。米山奨学生をみなさまが支えてくださっていることに感謝しています。ラフメット。カザフ語でありがとう、という意味。みなさんラフメット。ありがとうございました。



<閉会・点鐘> 13:30 田邊 会長

週報担当 山田 豊



年忘れ家族会

12月20日(金) 18:00(点鐘)~20:30
メルキュールホテル横須賀 5階『パリの間』

会 員 1名 10,000円
会 費 : ご家族 1名 8,000円
小学生 1名 3,000円 (未就学児無料)

シンガーソングライターの素敵な女性シンガーの yosu さんをお迎えして、楽しい一時を過ごしたいと思います。ご家族お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

シンガーソングライター yosu(よす) さん

2013年6月26日、キングレコードからメジャーデビュー。

静岡県焼津市出身。ピアノ弾き語りを中心に都内でもライブ活動を展開。TV番組のリポーターや番組ナレーション、美容室FORTEのモデルを務めるなど、幅広く活動中。その他、静岡県内外のCMタイアップ曲も多数。「ふと口ずさみたくなるメロディ」が性別年齢を問わず多くの人に支持されている。